

## トピックス

## 1 長崎から2つの世界遺産を

## (1) 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業



「明治日本の産業革命遺産」は、幕末からわずか半世紀の間に、製鉄・製鋼、造船、石炭産業の重工業分野において、西洋技術が導入され、日本の伝統文化と融合し、産業システムとして構築される産業国家形成への道程を示す遺産群です。

平成27年7月に世界遺産に登録されました。

## (2) 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、禁教の中で長崎と天草地方において日本の伝統的宗教や一般社会と共生しながら信仰を続けた潜伏キリシタンの信仰継続にかかわる伝統のあかしとなる遺産群です。

平成30年の世界遺産の登録を目指しています。

長崎県世界遺産登録推進課

検索

## 2 新県庁舎整備



## ○新県庁舎の概要

新たな県庁舎は、東側に長崎市中心市街、西側に稲佐山、南側に長崎港、北側にJR新長崎駅舎が位置する。長崎市の中心域に建設し、基本理念である「県民とともに新しい時代を切り拓く庁舎」を実現するため、「県民生活の安全・安心を支える庁舎」、「県民サービス向上のための機能的で新時代環境共生型の庁舎」、「県民に優しく、県民が親しみを感じる庁舎」とすることを基本方針として整備しています。

## ○建築計画概要

- ・計画地：長崎市尾上町（長崎魚市跡地）
- ・敷地面積：30,182㎡  
（防災緑地や臨港道路、岸壁を含めると、約58,000㎡）

## ○工事の完成時期

- ・平成29年11月

県庁舎建設課

検索